

第2回広域観光連携専門委員会 会議録

日時：令和元年9月6日

14:00～

会場：糸魚川市役所 203 会議室

1、開会挨拶

〈糸魚川市観光協会〉

2、審議事項

(1) 鉄道フィギュアストラップキャンペーンについて

〈事務局〉

=資料に基づき説明=

〈上越市〉

- ・昨年実施したキャンペーンでは、有効な乗車券以外の乗車券もあり、判別がつかなかったためストラップを交付していた。記載以外の切符が提示された場合、どうしたらいいか。(事務局からの回答) 該当区間が含まれている切符であれば大丈夫。路線が混在している駅だと、切符を特定するのが難しいので、基本的に定期券以外は認める。
- ・指定されたスタンプ以外のスタンプを押してきた方がいた。駅のスタンプとストラップ対象スタンプの判別をどうしたらいいか。
(事務局からの回答) 駅のスタンプを使用しようと思っている。駅に何種類もスタンプがある場合は確認するので教えてほしい。キャンペーン用に新しいスタンプを作る予定はない。

(2) 令和元年度訪日プロモーション事業の方向性について

ア 旅行会社、メディアの招へい事業について

〈事務局〉

=資料に基づき説明=

- ・上越市のアクティビティが入っていないので、日程を調整し上越市のアクティビティを行程に取り込みたい
- ・雨天時の案があればいただきたい。
- ・行政は議会对応で都合が付きづらい時期だと思うので観光協会等で対応していただきたい。JTBでは、単独での対応ができる体制をとる。

〈小谷村〉

- ・まつみ食堂が休業中と聞いているので確認必要。

イ 2019 台北国際旅行博について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・ 5泊7日で各市町村から1名ずつの参加を検討している。
- ・ 専用車、現地ガイド、セールスコールについて
⇒現地で調整できるので基本的には必要ない。
- ・ JTBの手配の範囲は、富山台北往復航空券、宿泊費5泊分、旅行博入場パス代（不足分は北アルで負担）、出展料、運営管理費、パンフ郵送料、通訳スタッフ2名4日間、アンケート調査50名4日間等。その他の経費は北アルで負担する。
- ・ 行くメンバーが決まったら作戦会議をしたい。

（3）令和元年度訪日プロモーション事業の方向性について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・ 長野市から北アル構成市町村、松本市、上田市を含めたサイクリングのインバウンド事業をやらないかオファーをいただいている。

〈朝日町〉

- ・ 昨年からの話が出ていた。今後は広域で連携しないと補助金を取りに行くのが難しいが、もともと北アルの設立趣旨は、糸魚川駅利用者向上のためだったと思う。広域連携になると、ポテンシャルの高い地域ばかりが目立つ。方向性がとれば事業としてはいいと思うが、一気にやるのは方向性が違うと思う。昨年までは、北アルの構成市町村のみでという結論になっていた。

〈事務局〉

- ・ 広域で行くと、人口の少ない地域は飲み込まれる可能性がある。北アル構成市町村だけで取り組むのもよいが、補助金の採択問題や、サイクリングの距離としては短いなどの点がある。10月の予算要求の時期までにはある程度の方向性をまとめたい。糸魚川駅を活用した方法を検討することが許されるかどうか、長野市の担当者と調整する。

（4）輪行バッグ推進事業について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・ 輪行バッグが少なくなってきた案内所は、案内所同士で調整するようお願いしていたが難しい。ある程度たまったら宅配便で各市町村へ送ってほしい。（郵送料は北アルで負担）
- ・ 利用者からは好評なので、今後は有料での貸出も検討していきたい。
- ・ 9月に入ったのでマスコミへPRをしていく。

3、その他

（1）自転車を利用したまちづくりを推進する全国市町村長への会への加入について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

(2) 復興糸魚川「食の嵐」のポスター、チラシの配布について

〈事務局〉

=資料に基づき説明=

4、閉会

(15 : 15 終了)